

暮らしをまもる 新たな新しい水の流れ

—高尾川地下河川完成式が挙行されました—

5月14日(土)、二日市東コミュニティセンターにて、福岡県主催による「高尾川地下河川完成式」が挙行されました。福岡県服部 誠太郎知事をはじめ、国および福岡県の関係者のほか、市内からも筑紫野市議会、高尾川・鷺田川改修促進期成会の皆さんが出席しました。

●災害防止に大きな効果を発揮

この事業は、大雨により度重なる浸水被害が発生していた二日市地区の抜本的解決を図るため実施されたもので、特に平成26年8月22日の豪雨災害を契機に流域の浸水対策として「高尾川床土浸水対策特別緊急事業」が国で採択され、福岡県那珂県土整備事務所により平成27年から事業が実施されてきました。

事業としては、西鉄紫駅付近から西鉄二日市駅付近までの1040メートルの区間、二日市地区を流れる高尾川の地下約10メートルに内径5メートルの地下河川が新たに築造されました。大雨が降った場合、高尾川から一定量を越す水が、流入立坑から流れ込み、地下河川トンネルを



▲「地元悲願の本工事の完成は、多くの皆様のご指導とご尽力によるもの」とあいさつする藤田市長

経て、流出立坑から再び下流の鷺田川に合流します。

令和2年6月からは暫定運用が行われており、その後の大雨では増水した高尾川からの流入を確認、浸水被害を防止するなど、大きな効果を発揮しています。

●まちへの影響を最小限に

式典では、オープニングアトラクションとして、日本当道音楽会の梅野ミチ子さん、上野香子さんによる琴演奏が披露され、花を添えました。

服部知事からは主催者を代表して



▲地下河川内部

事業実施の経過

- 平成26年 ○ 8月 豪雨により高尾川・鷺田川が氾濫、床上浸水など多くの被害が発生
- 平成27年 ○ 4月 高尾川地下河川床上浸水対策特別緊急事業が採択される
- 平成29年 ○ 3月 高尾川地下河川築造工事起工式
- 9月 平成橋が開通
- 平成30年 ○ 3月 流入立坑の掘削が完了
- 7月 平成30年7月豪雨
- 8月 高尾川地下河川築造工事シールドマシン発進式
- 9月 シールドマシンによる地下河川の掘削開始
- 令和元年 ○ 
 - ▲地下トンネルを掘り進むシールドマシン
- 令和2年 ○ 3月 地下河川が貫通
- 6月 地下河川の暫定運用を開始
- 令和3年 ○ 
 - ▲地下河川に分流した水は下流で合流
- 令和4年 ○ 5月 高尾川地下河川完成式



▲セレモニーで完成を祝いました

「全国的に珍しい工事で、本県では初めての工法です。住宅・商店の移転、街並みへの影響を最小限にとどめ、事業期間も大幅に短縮することができました」とあいさつがありました。事業説明の後には、完成セレモニーとしてくす玉割りが行われ、完成を祝いました。

流入立坑周辺には事業概要等のパネルなどが設置されています。施設や浸水被害の歴史について学習の場として活用することができます。



▲整備された流入立坑



▲高尾川地下河川トンネルのイメージ図